

選果レーンの一部リニューアル

碧南のトマト、共選出荷スタート！

【10月中旬／碧南市内のハウス、集荷場でトマトを紹介します】



JAあいち中央管内の碧南市で栽培されているトマトの出荷が始まります。碧南南部地区では昭和30年代から、トマト需要の高まりとともに生産が行われてきました。土壌や気候がトマト栽培に適しているため、みずみずしく、あっさりとした食味でたくさん食べることができます。

昨年からの選果施設の一部リニューアルや、出荷資材の見直しなどを行い、品質のよいトマトを消費者の元へ届けられるように努めています。



選果レーンで選別され、人の手で箱詰めされます。



先進技術導入により収量アップ目指す

JAあいち中央トマト部会（部会長：多田育男）では、収量が土耕栽培より多く、病気や虫の発生を抑えられる「ロックウール栽培」の導入が進められています。ロックウールは、土を使わない水耕栽培の培地として取り入れられ、苗を植えて溶液を流して出来る栽培法です。

JAあいち中央トマト部会

部会員：9人
栽培面積：約4.3ヘクタール
出荷時期：10月上中旬～7月上旬
最盛期：5月～6月頃
総出荷量：約550トン（予定）
流通先：中京市場を通じ、大手量販店で販売



生産者の手でひとつひとつ丁寧に収穫されます。

<メディア対応日>

日時：2021年10月中旬

場所：碧南営農センター内園芸集出荷場
(碧南市港本町4-40)

※取材当日はハウス内でトマトの収穫作業、集荷場で選果レーン稼働の様子を撮影いただけます。

(お問い合わせ先) ※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

■JAあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

■TEL：0566-73-5504／携帯（高瀬）：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp